

2020年4月17日 ライブQ&A

アミール・ツアルファティ

- バリー・スタグナー牧師と共に、ライブで質問に答えます -

https://youtu.be/A_wgfn3fpqY

マイク: 始める前に、いくつかの基本的なルールをお伝えします。現在、たくさんの方が見えていますから、みなさまからのご質問をお待ちしております。しかし、ここからは、できるだけ少ない言葉で、具体的な質問を入れるようにお願いします。これをリアルタイムで読んで、伝えるのが私の役目ですから。それから、もう一つの免責事項です。もちろん、すべての質問にお答えできるわけではありません。共通の質問に、いくつかお答えできるよう頑張ります。しかし、一つ、直前に投稿されたもので、お答えすることを約束したものがああります。では、これをアミールに始めてもらいましょう。

Q: マラキ書4章5節の、エリヤが帰ってくることについて話してください。“大いなる恐ろしい日”の前に、エリヤが来ることが語られています。

**見よ。わたしは、主の大いなる恐るべき日に来る前に、預言者エリヤをあなたがたに遣わす。
(マラキ4章5節)**

アミール: すごいですね、マイク。私たちはちょうど過越祭を祝ったばかりです。ユダヤ人の家庭は皆、預言者エリヤのために、1杯のワインと全食事を整えた空席を用意しています。なぜなら、マラキは、少なくともユダヤ人の伝統では、メシアが来る前にエリヤが来て、主のために道を整えると約束していたからです。しかし非常に興味深いのが、マタイ17章で一旦^{いったん}変貌が終わると、それはもちろんペテロがカエサリア・ピリピで告白した後のことで、イエスが預言者の1人だと思っている人がいることを弟子たちが認めています。そして、9節で“彼らが山を降りるとき、イエスは彼らに、「人の子が死人の中からよみがえるときまでは、いま見た幻をだれにも話してはならない」と命じられた。”(マタイ17章9節) 言い換えれば、すべてのことに時がある。メシアである、わたしについて伝えるにも時がある。そして、弟子たちが彼に尋ねたことを見てください。「すると、律法学者たちが言っているのは、どうしてでしょうか」彼らは言います。「ちょっと待ってください！もしあなたがメシアであるならば、どうして律法学者たちは、エリヤが先に来なければならないと言っているのでしょうか」つまり、エリヤはどこですか？もしあなたがメシアならば、すでに来ているはずですよ。イエスは答えて言われた。「エリヤが来て、…」イエスは、マラキが書いたことを確認されました。「エリヤが来て、すべてのことを立て直すのです」「すべてのものを立て直す」イエスは基本的に言っています。「わたしは神の言葉だ。わたしは神の言葉と矛盾するようなことは言わない。わたしは神の言葉だから」神の御言葉は真実です。確かにその通りです。「しかし…」彼は言います。「しかし、わたしは言います。エリヤはもうすでに来たのです。ところが彼らはエリヤを認めようとせず、彼に対して好き勝手なことをしたのです。人の子もまた、彼らから同じように苦しめられようとしています。」そのとき、弟子たちは、イエスがバプテスマのヨハネのことを言われたのだと気づいた。”なので、これは言及されていることが、はっきりと分かります。私はいつもも言っていますが、掘り下げて調査する価値のあるものがあり、また、聖書が非常に明確に答えている質問もあって、これもそのうちのひとつです。これは間違えようがありません。

マイク: ええ。バリー牧師、何か追加することはありますか？

バリー牧師: マラキ書の中に書かれていたことを、考えてみましょう。多くの方が、エリヤが二人の証人の一人になることを期待しています。アミールが言ったように、単純にエリヤの意味を思い出せば、「私の神、エホバ」という意味です。そして、彼は必ず来るのです。そしてエリヤの霊というのは、イエスがバプテ

スマのヨハネが、その霊を持っていたということ指していたのです。そして彼は来て、彼らが好き放題をして、斬首しました。そしてイエスは、彼も将来的にヨハネと同じように死に直面することを言われたのです。斬首ではなく拒絶という意味で。だから、患難時代の二人のうち一人がエリヤのような力を持っていることから、特に、人はそれがエリヤだと考えます。必ずしも、それが事実かどうかは分かりませんが。しかし、アミールの言ったことは、正しい見方だと思います。エリヤは来た、と聖句が明言しています。そして、イエスはご自身が神であると言われ、それが神の御言葉ですから、議論は終わりです。

マイク：ありがとうございます。次も大事な質問です。横のコメントを見ていたら、多くの人が携拳について、疑問を持っています。最初に携拳問題をまとめておきます。

Q：多くの人が大患難前携拳の立証を求めています。そして2つ目は、現状に関連したCOVID-19です。それは大患難前携拳が差し迫っていることと何か関係があるのでしょうか？COVID-19と関係があるのでしょうか？

これは難しいですね。たくさんの質問がありました。では、その内のいくつかを満足させましょう。アミール、先に行きますか？

アミール：まず第1に、バリーも私も大患難前携拳を信じているのは、次のような理由からです。なぜなら、私たちは大患難の中で互いに励まし合うように、とは決して約束されていません。私たちは大患難から免れるので、互いに励まし合うようにと励まされています。私たちは神の御怒りを受けるように定められていない。第1テサロニケ人への手紙5章にあります。第1テサロニケ4章で、パウロ自身が、携拳が起こる前に何か起こらなければならないとは、一瞬たりとも考えませんでした。彼は、かなり確信していて、実際、キリストにある死者が先によみがえり、「生き残っている私たち」と言いました。

次に、生き残っている私たちがたちまち彼らといっしょに雲の中に一挙に引き上げられ、空中で主と会うのです。（第1テサロニケ4章17節）

言い換えれば、もし患難が携拳の前に起こらなければならないのであれば、パウロは、そう書いたと思いませんか？ところで、パウロが第2テサロニケ人への手紙2章で反キリストについて語ったとき、彼はそれを明確にしました。

…今は引き止める者があって、自分が取り除かれる時まで引き止めているのです。その時になると、不法の人が現れます…（第2テサロニケ2章7節から8節）

そしてもちろん、イエスがフィラデルフィアの教会に御使いを送ったときにも、彼は言っています。

あなたが、わたしの忍耐について言ったことばを守ったから、わたしも、地上に住む者たちを試みるために、全世界に来ようとしている試練の時には(から)、あなたを守ろう。（黙示録3章10節）

“スルー(通して)”ではなく、“アウト オブ(外に)”。“Out of”は、「外に出る」という意味です。だから…、繰り返しますが、一番大事なのは、もちろん黙示録はヨハネが天の神の御前に上げられて以降、教会について語っていません。私が間違っていなければ、教会は19章まで一度も登場しません。つまり、その間に出て来る地上の信者はすべて、私たちが“大患難時代の聖徒”と呼ぶ者たちです。これらの人たちは、大患難の中を通過して信仰を得た人たちです。これらの人たちは、最終的に、大患難の最後に携拳されることが定められた人たちです。しかし、私たちはキリストの花嫁です。キリストとの結婚のために、私たちは上に上がらなければなりません。私たちは、キリストの裁きの御座に上がらなければなりません。私たちは、彼が私たちのために用意してくださった場所にいるために、そこに上らなければなりません。ですから、ところでCOVID-19は、墮落した世界の多くの結果のひとつです。病気や疾患、また、邪悪な人間の心の問題にも関

係していると思います。個人的には、このウィルスは武漢の研究室から出たものであって、動物から始まった病気ではないと思っています。これは、どこかの研究室で作製されたものです。COVID-19は、よく分かりませんが、数ヶ月以内に終わりを告げるでしょう。しかしひとつ確かなのは、人々は昔のやり方に戻ってでしょう。もしかしたら、もっともっと明日がないかのように生きようとするかもしれません。だから、私は、それが何よりも差し迫る携挙のしるしであるとは見ていません。私は、神が愛から私たちに与えている警告だと考えています。そして、そこから、たくさんの実があるのもわかります。私は世界中の何十万人もの人々がキリストのもとに来て、キリストに立ち返り、ひざまずいて神が介入してくださることを祈っているのを見ています。文字通り、神との関係について、人生を考え直しています。ですから、確かに、それは私たちの生き方と、私たちがどのように生きなければならないか、また、差し迫るキリストの来臨に向けて、どのように準備をしなければならないか、ということに大いに関係しています。しかし、これに地震、疫病、戦争など、すべての出産の苦しみを加えるならば、これらは産みの苦しめで、これらは、もちろん携挙の前にあるべき兆候です。

マイク: その通り。ありがとうございます。バリー牧師、大患難前携挙について、このCOVID-19は、今まさに差し迫る携挙に関係しているのでしょうか？

バリー牧師: そうですね、イエスが言われた終わりの時、大患難の前には、世界中で伝染病や疫病がエスカレートすると、マタイ24章3節から8節、その後の章で述べられています。しかし確かに、物事がひっくり返ることを認識しなければならないでしょう。大患難の前、人々がノアの時代のようになることを知っていますから。彼らは差し迫る裁きの兆候に無関心になって、売ったり買ったり、嫁いだりめとったりします。まさに主が、彼らを箱舟の中に連れて行かれる日の前のように。なので、これは実現すると思います。また、今のようなパンデミックの恐怖の代わりに、恐れがなくなるのではないかと思います。「もう（世界が）終わると思ったが、終わらなかった」というような自信が生まれそうです。しかし、大患難前携挙の立場に関して、私は、いつも旧約聖書の類型論を探します。ユダヤ人は1500年もの間、過越の祭りの日に、傷のない子羊をほふって、他人の罪をおおうために、罪がないのに身代わりとなって苦しむ方を指し示してきました。ですから、イエスが来られるまでに伝えられたメッセージがあったのです。個人的には、携挙は聖書から伝えられたものだと思います。エノクとエリヤを超自然的に、生きたかたちで超自然的な世界に瞬時に移しています。彼らは、いわば、上げられました。エノクは神と共に歩み、神は彼を連れて行った。なぜなら、彼は神を喜ばせたという、この証がありますから。私たちは、キリストにあって神に喜ばれた証を持っています。そしてもう一つ、私がいつも興味深いと思うことを見てみます。私たちは異邦人の世界と、いわば圧倒的に異邦人が占める教会との区別を見えています。最初の信者はユダヤ人でしたが、ゼカリヤ書によると、この大患難の期間にユダヤ人に何が起こるのか。大患難期に突入し、ユダヤ人の間で大きな苦しみが起こります。信者のユダヤ人は、それを乗り越え、彼らの3分の1は、自分たちが突き刺した方、メシアを見て、信じることになる。そして歴史的に私が興味をそそられるのは、ここです。ユダヤ人ではなく異邦人であったノアは、木の塊かたまりによって神の怒りの上に引き上げられた。そして私たちは、木の塊にかけられた方によって、神の御怒りから解放されたのです。出エジプト記の話しに行けば、ユダヤ人は、第3と第4の疫病の間に、神はパロに言われました。「わたしの民とあなたの民の間に差をつける」そして、ユダヤ人は地球上に住み、彼らは疫病の時代を生きたが、超自然的に神に守られていたのです。

**わたしは、わたしの民とあなたの民との間を区別して、救いを置く。あす、このしるしが起こる。
(出エジプト8章23節)**

これは大きいですよ。携挙と患難で何が起こるのか。大部分が異邦人の教会は取り去られ、神の御怒りの上に持ち上げられる。そして、信者のユダヤ人たちは、神の御怒りから神の手によって超自然的に守られて、大患難の期間を生き抜くことができるのです。そして、

彼らは、自分たちが突き刺した者、わたしを仰ぎ見、ひとり子を失って嘆くように、その者のために嘆き、初子を失って激しく泣くように、その者のために激しく泣く。(ゼカリヤ12章10節)

なので、大患難前携拳の立場は、その二つのことを類型論として、すでに確立されていると思います。あとの証拠は、私たちが神の御怒りに会うように定められていないこと、アミールが先に引用した第1テサロニケ5章9節に書かれています。ということで、私も全面的に同意します。私たちは御怒りには定められていません。ヨハネの黙示録6章から19章まで、全く教会についての言及がなく、そこにはキリストを拒絶した世界に対する神の直接の御怒りが記録されています。ですから、COVID-19が示していることが1つあるとすれば、私たちは上を見上げる必要があるということです。私たちの贖い^{あがな}が近づいていますから。

マイク: それに関して…

アミール: アーメン

マイク: ビホールドイスラエル YouTubeチャンネルに携拳の教えがありますので、ぜひご覧ください。そして5月には、「Mystery of The Rapture(携拳の奥義)」の学習ガイドを発売することになりました。ぜひ、その2つのツールを活用してください。何人かが質問しています。

Q: “COVID-19の予防接種が来たら、接種すべきか?”

アミール、どうですか?

アミール: ほら、これがどこにつながるか知っています。どこに行くか、方向性はわかっています。この「チップを移植されるのを拒否するべきか」とか、そういったことです。いいですか? COVID-19の予防接種が仮にあっても、「ID2020」にはなりません。“ID2020”とビル・ゲイツが推進しているチップとか、これは何かというと、ちなみに米政権は、すでに行動計画として、それを却下しています。これを世界中の人が受けるのか? 私が信じているのは、私たちがここにいる間、高い確率で拒否されるでしょう。これは…、これは問題ではありません。ウィルスの予防接種は、必ずしも自動的にサタンか何かの手に落ちたり、反キリストに属すると宣言したりするものではありません。私たちは覚えておかなければなりません。私たち信者は、この地上に生きる限り、反キリストが獣のしるしを世界の人々に押しつける姿を見ることはありません。私たちは、ここから出て行きます。だから、それまでは間違いなく、私の意見では、私たちは予防接種を受けるか受けないかを選択することができます。これは私たち次第です。これは超悪魔的なものではありません。私は…、何があってもチップを肌に入れたり、肌の下に入れたりすることは絶対にしません。COVID-19とは、全く関係ありません。半年前に聞かれても、私は、そんなことはしないと断言しています。ビル・ゲイツとか、誰かがそれを導入するまで待つ必要はありません。でも、人にうつさないように、または感染しないようにするために提供される予防接種のようなものがあるとしたら、受けない理由はありません。これは獣のしるしではありません。そして、これは…、ほら、私たち全員が予防接種を受けいている病気は、他にもたくさんあります。ただ私は、すべての予防接種に同意するか? しません。または、すべての年齢に予防接種を要求することに賛成するか? しません。その一部は製薬会社のお金と関係があると思うか? はい、もちろんです。でも、何でもかんでも一括りにしないように気をつけないといけません。そして、予防接種のひとつひとつが反キリストの獣のしるしだと思わないように。そのようなことはありません。そして獣のしるしは、ここに取り残された人々のためであることを思い出してください。それは私たちのためではありません。COVID-19の予防接種を受けても、反キリストの世界システムに、自らを引き渡すことはありません。いいですか? 簡単に言えば、そういうことです。バリー牧師、助けてください。

バリー牧師: いや、それは知恵だと思います。なぜなら、1. 獣のしるしは、獣の崇拜に直結します。それらは明らかに大患難の時期にあり、基本的には創造主である神の救い主キリストを否定し、自分自身を獣と同列にします。そして、全世界が獣の後を追いかけると書いてあります。第2の獣が像に命を与え、いわば息を吹き込むことを可能にしますから。アミール、あなたが言ったことは、みんな自分で判断しないと断言しません。それが賢明だと思います。これは予防接種です。しかし、預言的な側面を持つのは、その技術で

す。黙示録13章に書かれていることを実行するための技術が整ってきましたから。予防接種を受けることは、あなたの言うように獣の印を受けることではありません。しかし、それは私たちに伝えてあります。また、ビル・ゲイツらが提案していることの中で最も興味深いのは、黙示録13章の“しるし”の言葉が「チャラグマ」であるということだと思います。それは皮膚の表面にある何かを示しています。私たちは、FIPチップの無線周波数インプラントデバイスや、他のすべてのものが獣のしるしになる可能性があるという話をたくさんしました。しかし興味深いのは、皮膚の表面に置かれる、この生体認証機能を持つタトゥー（刺青）で、それは自分の体と相互作用して、それはまた、あなたの能力、またはあなたの購入、売買の能力を追跡することができます。私には、反キリストが世界的な商取引を支配するために使用する可能性のあるものが登場したと思えます。少なくとも、今は誰が予防接種を受けたか、受けていないかを追跡するために、すべてがセットになっています。そうして、公共の場や人の集まる場所に入ったり、職場に入ったりすることを可能にする。ですから、もう仕組みは出来上がっています。これも1つの収穫だと思います。獣のしるしではありません。それは、その人の名前と、その人の名前の数と、その人物の崇拜を連想させるしるしです。

マイク： ちょっと聴衆にお伝えします

アミール： そして、私たちは…

マイク： ええ、これはスペシャル…。アミール、どうぞ。

アミール： つまり、人々に明確に伝えなければなりません。世界が間違った方向に向かっていること、少なくとも神の御言葉を見る限り、間違った方向に向かっていることは間違いありません。しかし、預言的には正しい方向です。神の御言葉が、世界はその方向に行くことを示しているのです。よいですか？私は反キリストに来てほしいか？いいえ。彼に統治してほしいか？いいえ。私に彼を止められるか？いいえ！そう言うことです。つまり、私には無理です。私は、彼に投票しません。私は彼を見ることもないでしょう。見てはいけません。それが彼だと私が知ることはありません。しかし彼が浮上するのを、私には絶対に止められません。それは起こるべきであることを、私たちは分かっていますから。神は…、それが黙示録の素晴らしさです。それは私たちが決めることではありません。そうではありません。神は、私たちにこんなことは言っていません。「もし、あなたがたが行儀よくすれば、黙示録の3分の2は起こらない」神は、これから確実に起こる事を、すでに私たちに伝えているのです。ただ、彼が言っているのは、この事態に巻き込まれないために、自分の役割を果たせということです。そして、わたし（神）が何からあなたを救うのかを知ってほしい。これを皆、理解しなければなりません。予防接種を受けないことで、最終的には獣の印に向かう世界の方向性を止めることは出来ません。世界は、バリー牧師の言ったとおりになるのです。技術、人の思考、見てください。みんな、二度とロックダウンなんてしたくありません。何ヶ月も営業停止を願う人はいないでしょう。だから、みんな自ら飛びつくのです。もう病気にならないために、私には何が必要なのか？つまり、彼らは普通の…、今のように拘束されず、“普通の人生”を送るためなら、何でもするでしょう。だから繰り返しますが、信者の私たちは、大きなジレンマの中で生きているのです。1つに、私たちは何を避けるべきかを知っている。第二に、私たちは何が起こるかを正確に知っています。だから、私たちは私たちの役割を果たすのです。どちらにしても、世界は間違った方向に向かいます。私たちは、主を信頼しなければなりません。主が約束を果たして、私たちをここから連れ出してくださることを。世界が正しい方向に向かうなら、彼は私たちをここから連れ出さなくても良いのです。彼は、ただここに来て、ここにいればよいのです。彼は、「あなたがわたしのために場所を用意してくれることを願っています」と言うでしょう。「あなたがいるところに、わたしもいる」しかし、彼は言ったのです。「いいえ、わたしが、あなたのために場所を用意する。わたしがいるところに、あなたがたをもおらせるために」イエスは、世の中がおかしくなることを知っていて、実際に、私たちのために場所を用意してくださっているのです。だから、住所変更するのは私たちです。それまでは、健康でいたいなら健康でいよう。予防接種を打つ必要があるなら予防接種を打ってください。それで悪魔崇拜や拝金主義者になることはありません。責任感のある人が、自分が感染したり、他の人に感染させないようにするだけのこと。それだけです。現状以上のものにしないようにしまし

マイク: はい。非常によい答えでした。ありがとうございます。そして、皆さん覚えておいてください。最近、聖句とそれに対する私たちの考えに触れた、獣のしるしについての全体的な教えをアップロードしています。ぜひ、ご活用ください。さて、多くの人がエゼキエル戦争に関してコメントしています。

Q: 今の状況は、エゼキエル戦争、(エゼキエル) 38章と39章と関連しているのか？
それは大患難と携拳の前なのか、それとも後なのか？

お二人の見解では、エゼキエル書38章と39章の戦争の場所は、どこですか？
まずはバリーから始めましょうか？バリー牧師、エゼキエル38章、39章は、いつ起こりますか？

バリー牧師: これは私たちの世代の預言の中で、イスラエルの誕生以外で最もエキサイティングなことの1つだと思います。エゼキエルが預言していたように、力を結集し、互いに並列しようとしている勢力の連合体です。その中で役者が誰なのかという解釈やバリエーションはありますが、しかし、この質問に関して最も重要だと思うのは、神の応答です。エゼキエル書38章と39章には、地震が起こると書かれています。それと雹、血、火など、非常に壊滅的な神の怒りの対応があります。教会時代に、そのような反応があったとしたら、ナチス・ドイツに対して行われるべきだったと、私はいつも振り返っています。もし神が破壊的な御怒りで対処されるとすれば、600万人のユダヤ人殺害は、確かにその機会だったでしょう。しかし、私たちは教会の時代にあって、イスラエルは盲目になっています。アミールが証しているように、一部のユダヤ人がキリストへの信仰を持っているのは感謝なことですが。しかし実際、この大患難の期間は、ダニエル書の70週目です。そして神は言われます。「わたしはこれらの週に、順番に起こる事を決定している」7週と62週に分かれ、そこから離れて70週目です。そして主はダニエルを通して、ダニエルに言われたのです。

**あなたの民(ユダヤ人)とあなたの聖なる都(エルサレム)については、七十週が定められている。
(ダニエル9章24節)**

ですから70週目には、それまでの69週の間状況に戻ることであります。神は、ゼカリヤ書14章の言うように、イスラエルを襲うものを罰する。地球上のすべての国々が一緒に彼らに敵対して、神の激烈な怒りの形で、神の応答を経験することになります。それが、エゼキエルのシナリオの間にも起こります。神が対応され、神が民を守られる。そのため、そのせいで、私の中ではエゼキエルの戦争のシナリオは、大患難の間であると考えています。だから、私がワクワクすると言うのは、もし、それが大患難の間に起こって、私たちが大患難の間、ここにいないとすれば、主は、今日、教会のために来られるかもしれませんから。

マイク: ええ。非常によい答えです。アミール、何かありますか？

アミール: いえ。ほら、地上のすべてのものが、それが差し迫っていることを示している。エゼキエル戦争は、COVID-19によって石油価格の崩壊が進み、いま、ロシアとイラン、トルコ経済の崩壊を後押ししていて、私たちは信じられないようなことが起きているのを見ています。1バレルの価格は、今のところ18ドルです。そしてOPEC協定は少しも役に立ちません。いまは石油の需要が、本当に少ないから。つまりポイントは、エゼキエル戦争が、そこまで来ていることは間違いないと思います。私たちが、それを見るかどうかは分かりません。しかし間違いなく、それが次に来ます。預言書で預言されている大戦争の預言のタイムラインでは、それが次に起こります。ですから、ええ、確かにそうですね。そして、ゴグとマゴグのエゼキエル戦争と、ハルマゲドン運動を混ぜてはいけないことを覚えておかなければなりません。それは、ゼカリヤ書12章と14章によれば、最終的にエルサレムで起こります。この2つは別物です。一方は、たぶん大患難へと続き、もう一方は、大患難の終わりにイエスの再臨をもたらします。

マイク: ちょうど…

バリー牧師: それは携拳の後です。そういう意味です。

マイク: さて、少し時間を取りたいと思います。スティーブがネット上で、ちょっとした面白いポイントに言及しています。「トランプ政権が展開する予防接種なら、喜んで受ける。でも、グローバリストが展開するなら、喜んで受けない」グローバリストを信用していない人たちがいるようです。私たちは、どちらでもありません。会話が盛り上がるのは分かりますが、では、話題を変えましょう。聞いてください。

アミール: マイク、コメントを全部見ていますが、はっきりと言っておかなければなりません。私は、このような病気の予防接種を受けるな、とはネット上で絶対に言いません。それによって、“獣の民”とか何とか、タグ付けされるリスクを負うかもしれないとか。いいですか。ビル・ゲイツは保健大臣ではない。私の知る限り、彼は選挙で選ばれてもいない。彼は何でもない。彼は、大学すら卒業していません。彼は金持ちです。それだけ。私たちは、全員ビル・ゲイツを恐れる必要はないと思います。ただ、間違いなく、彼は何かを作ろうとしています。しかし、それは現時点では、政府が直接受け入れるようなものではありません。この先、どうなるかと言われれば、これはもっと先の計画です。だから、彼のことは気にしていません。トランプ政権が予防接種を提供したり、イスラエル政府が予防接種を提供したりするならば、私はそれを受けようと思います。ビル・ゲイツの頭の中に恐ろしい計画があるからと言って、私は、イスラエルが提案している予防接種を受けないわけではありません。私は、世界中の何百万人もの人に向かって、予防接種を受けるなどと言うような、非常に無責任なことはしません。これは、私たちがすることではありません。我々は権力に従い、権力者のために祈り、健康的な生活を送るべきです。繰り返しになりますが、今のところビル・ゲイツが主導権を握っているとは思えません。グローバリストと、ライオンのように戦っている大統領がいます。彼はライオンのように、カバールと戦っています。だから、彼らは彼をそんなに憎んでいるのです。イスラエルも同じです。カバールもグローバリストもエリートも、皆ネタニヤフを追い出そうとしています。だから私たちは…、いま、すごい霊的な戦いが起きているのです。私は、ビル・ゲイツの計画があるというだけで、COVID-19の予防接種を排除するつもりはありません。私たちがここから出たら、彼の好きにさせると思います。しかし我々がここにいる限り、我々が彼の好きにはさせません。私たちに対しては絶対です。心配しないでください。

マイク: はい。バリーに1つ、それからアミールに1つ質問です。

Q: バリー牧師、「聖書正典」とは、何ですか?私たちが持っている聖書は、神の完全なみことばであると安心して良いのでしょうか。他のいわゆる「福音書」は、どうですか?

そしてアミール、続いて質問があります。(前の質問と)関係ありませんが、

Q: 「今日、契約の箱は、どこにあるのか」という質問です。

では、まず、バリーから。聖書正典とは何か、また、私たちが持っている聖書は、信頼できる完全なものであると断言できるでしょうか。

バリー牧師: ええ。本文の中に10分な証拠があります。チャック・ミスラーが、統合されたメッセージシステムをまとめています。基本的には、旧約と新約2つの聖書が合わさっている。旧約聖書からの引用が、新約聖書の随所に散りばめられていて、成就されたものと未来の出来事を指し示すもの、両方の旧約聖書の引用や参照が複数あります。黙示録の中では、両者のつながりを引き出すものが何百とあります。覚えておくべき重要なことは、靈感を受けた人が聖書を書いていた時代、聖書を写すのは、非常に手間がかかることでした。いわゆる複製する人のミスが入り込んだり、どちらの言語でも、息継ぎの印や、特定の語調の印を外してしまったり、それによって意味が変わり得ます。そのため、複数の原稿があるのです。新約聖書は特に。新約聖書の4万部以上の部分を見直すことが可能です。実際に伝えられたメッセージに簡単に手が届き、ユダヤ人は聖句の取り扱いに細心の注意を払ってきました。今日でさえ、彼らはタナフ、つまり聖櫃(せいひつ)に入ったトラーを運んでいるのです。それは守られ、敬愛されています。そして、時代を超えて同じことが起こってきました。彼らは聖書を伝達するとき、彼らが聖句の部分を書き出していたとき、

主の御名の箇所に来ると手を洗ったり、衣替えをしたり、そういう儀式があったのです。みことばに対する、尊敬と敬愛の念がありました。そして私たちは、はるか昔にさかのぼることが可能です。私たちがいま持っている聖書で、唯一、そういった権威を持つ人や場で認められている最新の書は、ヤコブ書です。なぜなら、それは、ただ神の恵みのみや働きによるのではないとか、そういうことにのみ焦点を当てていませんから。しかし、それはすぐに一致して、今ある最も古い完成された聖書は、ムラトリ正典目録と呼ばれるものではないでしょうか。ムラトリ正典目録は、基本的にはまさにその通りのことを行い、ヤコブ書とヘブル人への手紙を省いたと思います。ヘブル人への手紙は、作者不明のためです。個人的に私は、パウロが書いたと思っています。テモテへの言及がありますから。そして、これまた同じ理由でヤコブ書。マルティン・ルターや、ある人たちは、それを「無価値な書簡」と呼びました。しかし、1500年の間に40人の異なる著者によって書かれた2つの聖書の間には、一貫したメッセージがあることを、私たちは認識することができると思います。創世記3章にある、その本来の意図から逸脱することがありません。

“彼は、おまえの頭を踏み砕き、おまえは、彼のかかとかみつく。”（創世記3章15節）

そのメッセージが時代を超えて伝えられ、それは預言者たちを通して指摘され、福音書の中で成就しています。そして最終的にたましいの救済となり、肉体の救済となって、そのメッセージが、ずっと黙示録でも伝えられています。特に終わりの21章と22章では、完全に成就しています。物事は、まさに預言通りに起こります。だから、私にとっては複写時のミスがあるとか、翻訳の違いがあるとか、そういった議論は、それが聖書を無効にすることは全くないと思います。ただ、言っておきますと、現代の言い換えには注意が必要だと思います。巷で語られる多くが翻訳されたものではなく、原語を読んで古代の写本を見ていない人間による解釈で、現代語訳を読んで、自分たちが思っている意味に変えています。ここ最近、そういうものが多く出回っています。しかし、はい、聖書正典を信頼しても大丈夫です。旧約聖書と新約聖書の書物は、39の旧約聖書の異邦人版と、27の新約聖書で構成されています。そして、私が面白いと思うことの1つが、イザヤ書を見てみると、ミニ聖書なのです。66章のうち、39の章で、神はどのように神を拒絶したユダヤ人に対処されたかが書かれていて、そして希望と赦し、神の恵みとあわれみを思い起こさせる27の章があります。だから、イザヤ書は聖書全体の絵なのです。66章、旧約聖書と同じように39の章では、計画通り、神はユダヤ人の拒絶に対処されていて、そして、27の章で神のあわれみと恵みを取り扱っておられ、まさに新約聖書と同じ数です。どうなのでしょう。これが偶然の一致であるとは、私は思いませんが。それは、聖書の繊細さを私たちに思い知らせていると思います。私たちは、真の生ける神から、まさに必要なものを書面で得ているのです。

マイク： バリー牧師、ありがとうございます。では、ジョーがここで辛抱しているので、彼は、“Q”の“カノン（QAnon）”とは何かを聞いています。アミールに質問です。

アミール： わからない。マイク…、マイク マイク マイク！彼が言及している「Q-Anon」とは何かを説明しましょう。これは、「カノン」ではありません。彼は別の話をしている、そして…

バリー牧師： ディープステート…

アミール： それは…。ええ。ディープステートに関することです。カノン（聖書正典）とは関係ありません。

マイク： ええ、気づきました。この質問に答えたいですか？彼は、コメント欄で必死に我慢しているのだけど、それについてコメントしますか？

アミール： そうですね。そうしましょう。ええ。そうですね。コメントします。答えます。世界の大部分を悩ませている恐ろしい現象があって、世界中の少数の一族が、地球の経済と指導者のほとんどを支配しているのです。彼らはしっかりとつながっていて、彼らの意図は非常に邪悪で、何世代にも渡ります。彼らの目的は、地球の人口を減らして、全く違う世界システムと世界秩序を作ること、それは間違いなく、反キリ

ストの筋書きと考え方に合致しています。こういう人たちは、それを言葉にすることもなく、サタンに仕えています。ところで、彼らの多くがそう言っています。彼らはもはや、それを恥じることも隠すこともありません。では、説明します。トランプ大統領は事故でした。少なくとも、彼らの中では、そうでした。彼らはヒラリー・クリントンが大統領にすることを計画していて、すでに、すべての新聞が印刷されていました。ちなみにベンジャミン・ネタニヤフは、史上最長の選挙期間の後、彼がまだイスラエルの首相であるという事実、彼がいまだにイスラエルの首相であるというのは、これまた、同じグループの人間にとって事故なのです。ネタニヤフ首相は、つい数日前に言いました。彼は、イスラエルの司法制度、軍部、政府システムには、ディープステイト(闇国家)があると考えている。これらは、選挙で選ばれた人たちではありません。彼らは選挙で選ばれてもいないのに、各支局の公務員の利益のために、選挙で選ばれた者が置いた人たちです。そして、彼らがしていることとは？彼らは、主人に仕えています。さて、はっきり言っておきます。その話をすることすら、聖書に^{かな}適っています。不法の秘密は、すでに働いているのがわかりますから。反キリスト自身が、まだ来ていないからといって、不法の秘密が働いていないという意味ではありません。すでに働いています。皆さん、理解しなければなりません。彼らは世界中のあらゆる出来事を利用して、自分たちのアジェンダを推し進めようとしています。だからこそ、今、コメントの約8割から9割が、ビル・ゲイツに関することです。それは聖書とは、全く関係がありません。なぜか？なぜなら、いま起きていることは、この状況と世界中の何百万人もの人々の絶望につけ込んで、そして、世界中の人々を完全に支配する、という議題を推し進めようとしている人たちがいるのです。ところで、先ほど予防接種について触れましたが、ハッキリとさせておきましょう。世界の9割の人はCOVID-19の菌を持っているかもしれない、そのことすら知りません。というか、私たちは、たぶんもう自己免疫を持っています。すでに自身に抗体ができていながら、予防接種を打つ必要はありません。従って…、私個人的には、もともと健康ですし、健康には気をつけているので、私は…、必要のない予防接種を打つ気はありません。しかし、医者が、病気の人や感染する可能性が高い人々や何かに、そのようなものを提供するとき、いま、ある動きは「誰が予防接種済みで、誰が未接種なのか分かるようにすることで、COVID-19の悪夢を再来させないように」という後押しです。これは大きくなるでしょう。マイク、説明させてください。COVID-19の、^{かんたんしんそく}簡単迅速かつ、信頼性の高い検査法が見つかるまで、世界旅行は再開されません。ハッキリとさせておきます。世界旅行の各国間のフライトは、COVID-19の簡単で信頼性の高いテスト法が見つかるまでは、決して再開されません。予防接種ではありません。いまは、予防接種は問題ではありません。いまの問題は、「感染しているか、していないか」です。予防接種を受けているか、どうかではありません。ですから、世界が必死に開発しようと働いているのは、必ずしも予防接種ではありません。感染しているかどうかを確認するために、できる限り最高、かつ最速で、信頼性の高い方法を見つける。それだけです。私個人的には、私たちが祈るべきことは、そういった種類の検査方法が早く発見され、すぐにそれを持って前進することだと思います。私は、ここで予防接種を推進しているわけではありません。私が言っているのは、単純にビル・ゲイツとその計画のすべては、自分たちは光を与えられた、あるいは光を見たと考えている少数の大金持ちの一部だということです。彼らは、自分たちは啓発されていて、現在の政府よりも世界をコントロールする方法をよく知っていると考え、トランプ大統領は、その少数派の猛烈な敵です。そして、これがあなたが聖書正典と思った、“Qアノン”の正体です。米政権内の深層国家の行動や、意図を暴くことに関して、米軍、米国シークレットサービス、米国司法制度、その他すべて、彼らは、どこにでもいます。私は個人的に知っています。新生し、霊に満たされた信者である国務長官、マイク・ポンペオは、国務省職員の9割を信用していません。私は、それを事実として知っています。そして、国務省がそれに苦しんでいて、CIAがそれに悩まされ、FBIもそれに悩まされ、最高裁をはじめとする裁判所が、それに悩まされています。ハリウッドは、彼らの手の中にあります。これは大きいです。これらの人々は邪悪です。法律や人権、人々の基本的な権利、子どもや女性の基本的な権利を尊重しません。彼らには悪魔的な儀式があり、彼らは悪魔的な考え方を持っています。彼らは児童ポルノや性犯罪に関わっていて、人間の生贖^{いけにえ}に関わっています。見てください。これらのすべてのことがいま、出て来ています。しかし、これらのことは非常に多くの人に知られていました。ただ、誰も関わりたくなかったのです。彼らが支配層だから。彼らは法廷やメディア、ハリウッドを支配し、彼らは多くの人の心を支配しています。だからこそ、イエスが場所を用意するとおっしゃったのです。

わたしが行って、あなたがたに場所を備えたら、また来て、あなたがたをわたしのもとに迎えます。わたしのいる所に、あなたがたをもおらせるためです。（ヨハネ14章3節）

裁きが下るとき、神の御怒りが、この邪悪な世界に降りかかる時、これらのことのために、この邪悪な世界に降りかかるのです。それを見たとき、私たちは驚くべきではありません。ところで、まさにこのために黙示録が書かれたのです。それは、当時の教会に対するのと同じように、今日の私たちにとっても、この世界の方向性を理解するための啓示です。しかし同時に、神は黙っていることはなく、それらの人々のすべてを裁かれることを、私たちが理解するためでもあります。そして、彼らの行動は、すべて明るみに出ます。私たちは、ここでは審判ではありません。私たちは、後にキリストと一緒に裁きます。しかし、いま私たちは、ここにおいて、神の仕事をすることによって悪を暴き、できる限り悪と戦うのです。そして、邪悪な世界から人を救う最良の方法は、福音を与えることです。良い知らせを提示することによって、希望であり、いのちがあることを理解させるのです。そして、道があり、唯一のいのちがある。それはイエスである。それだけです。そして、そこにもっと投資する必要があります。これは大事なことです。これは大事なことです。イエスは私たちを連れて行く時に、私たちが御父の仕事をしているところを見たいと思っておられます。

マイク： ええ、深い答えです。さて、これを見ながら、これに関する質問をしている皆さん、私たちのニュースレターに、これらの多くのことを書いています。この前のニュースレターでも、アミールがこの話題に関するハリウッドのスタント俳優がまとめた、実際の動画を参照していました。この画面の下から、私たちのウェブサイトに行くことができます。そして、ウェブサイトにログインするとすぐに、私たちのニュースレターと毎週のディボーションである「ひとくち聖書」にサインアップできます。アミール、バリー、時間がなくなりましたが、始まるのが遅かったので、少し長めにします。何人かの人から、緊急の質問が来ています。

Q： 教皇とカトリック教会は、このすべてで、どのような役割を果たしているのでしょうか？

バリー牧師、お答えいただけますか？アミール、続いて返事をしたいですか？終わりの時のローマ教皇の役割は何なのか？彼は反キリストなのか？カトリック教会は獣なのか？その質問が、ここで何度も出ています。

バリー牧師： 多くの人は、それこそがカトリック教会の役割であると考えています。声となり、獣に乗る女である、と。多くの尊敬される学者が、その意見を持っています。聖書が世界的な宗教システムについて語っている事実を見れば、エキュメニズムがあると思います。教皇が、この件で主導権を握っていることに疑いの余地はありません。なぜなら、彼こそが、「多信仰祈禱会」など、最近の歴史の中で見てきたものを、すべて立ち上げてきましたから。COVID-19は気候変動に対する人間の無関心に対する地球の反応だ、と彼は発言しています。それは地球に生命の要素を置き、いわゆる霊を与えます。そして、それは基本的には、地球を拝むことであり、それは大患難時代に起こり、完全に現れます。神の御怒りの下にあることを知っている者が、御座に座る小羊の怒りの下にあることを知っているのに、彼らは主に向かって泣き叫ぶのではなく、地球に向かって泣き叫ぶのです。神の怒りから身を隠すため、岩や山に叫ぶのです。このすべてのことは、私が思うに、大患難の間に起こる、ある特定の考え方の準備です。そしてエゼキエルの筋書きが大患難期間の早い段階で起こると私が考える。もう一つの理由は、そこに記されている国を見れば、ロシア、トルコ、リビア、スーダン、ペルシャ。すべてイスラム教国家であり、過激なイスラム教徒が大多数を占めています。だから、もし大患難の初期に、これらの国を破壊することによって、イスラム教の過激派が基本的に排除されているとしたら、「宗教は多くの問題を引き起こしている。我々は皆、同じ傘の下に入る必要がある」と世界はなるでしょう。「ある特定の存在を崇拝する必要がある」そして、その多くが、この平等主義的な考え方の影響を受けているのだと思います。すべては平等でなければならない。ひとつの宗教が、他の宗教よりも重視されてはならない。ひとつの国が、他の国よりも特別扱いを受けてはならない。特定の人種が、他の人よりも多くのものを持ってはならない。みんな同じものを持っていないといけない。すべては平

等でなければならない。いわばすべてが同じ舞台に立たなければならない。宗教も含めて。そして、私が行ったように、教皇は、このような考え方を先導していると思います。これは決して少人数ではないことを忘れてはいけません。世界には14億人のカトリック信者がいます。そして彼らは、彼をキリストの代わりに立つ者、キリストの代理者として見ているのです。だから、彼の言うことには異議を唱えることはできない。彼は過ちをおかさない。何であれ、教皇が言うことは聖書に等しい。これらのことは、すべて、この宗教制度によって推進されています。

これだけは言わせてください。私の妻はカトリック信者として育ち、イエスを愛して新生したカトリック信者を、ずっと長年知っています。そして、主との間に正当な関係があると信じています。また、加えて言えば、彼らはミサに出席しています。しかし定義上、彼らはカトリックじゃないと思います。彼らは、マリアがキリストとの共同贖罪者（きょうどうしょくざいしゃ）だとは思っていません。神父に罪を告白しなければならない、とは思っていません。彼らはカトリックの教義を信じていませんが、システムの中で育ったのです。彼らには、そこが居心地がよいのです。さて、何人かは目を覚まして、そこから出ています。それは疑う余地がありません。私自身の妻にも起こったことです。確かな事実です。しかし繰り返しますが、「すみやかに事を運ぶ」ということわざの通り、それが大患難の期間中に完全に行われるのだと思います。そして、教皇は準備のために利用されていると信じています。さて、彼が黙示録13章の“獣その1”であれ、“獣その2”であれ、その話はしませんが、しかし、この人の仲間が、宗教的な力を持つことは知っています。黙示録17章によれば、彼自身が外交を通してグローバルなシステムを作る政治家になって、だれもがその下で活動します。ですから、私はローマ教皇が反キリストだとは結論づけませんし、必ずしもそうだと思わないが彼が道を切り開いているとは思いません。

マイク： はい。ありがとうございます！

アミール： ところで、数週間前に配信したばかりのメッセージがあります。『世界統一宗教のおこり』一見の価値ありです。バリー牧師が言っていた“道を開く”カトリック教会の役割が理解できるでしょう。

マイク： ええ。

バリー牧師： マイク、終わる前に、アミールが話していたことについて、一言いいですか？多くの人がディープステートやイルミナティなどの話を聞くと、なんとなく不気味な陰謀論者的思考に眉をひそめます。でも、アミールが見事に語っている間に思ったのは、これは昔からあることです。黙示録は、歴史の中で世界を支配する帝国が存在してきたという事実を指摘しています。そして、それらはひとりの個人や少人数の集団によって導かれてきました。黙示録は、七つの山があり、これらの山は王と王国であることを語っています。5人はすでに倒れたが、6人の内の1人がまた立ち上がると言われています。歴史を振り返ってみると、個人が率いる、これら5つの王国の世界的支配の帝国は、アッシリア、エジプト、バビロニア、ギリシャ、それとメディアペルシャ、そしてギリシャ。そして、これらに関連した単一の名前があります。センナケリブのことを考えてみてください。エジプトのラムセスや、他のエジプトのパロ、ネブカドネザルのことも考えてみてください。たぶん、全体の中で一番有名だと思います。後はアレクサンター大王とか、ローマ皇帝。これらは、あらゆる形で世界を支配し、独裁してきた1人の個人です。ですから、これは陰謀論でも、何でもありません。これは事実です。これは主が示された世界の行く末です。ちょっと、それに触れておきたいと思いました。ここで“Qアノン”や、“ディープステート”と聞くと、「ああ、陰謀だ」と思う人たち、これは陰謀ではなく、聖書的事実です。

マイク： ええ、ありがとうございます。ありがとうございます。アミール、何かありますか？

アミール： “イルミナティと世界統一政府”というメッセージがあります。5年前にフィリピンで行ったメッセージで、創世記3章の時代に遡っています。自分は“光”が与えられ、悟りが与えられたと主張する人々がいることが、はっきりと分かります。世の中には悪があることを理解する教育が必要です。エデンの園から始まった悪魔の洗脳、そして、その実を味わうことを禁じたことで、サタンは善人であり、神は悪人である

と、ずっと人々に思わせています。すべてはエデンの園から始まった古代のもので、太古の昔から存在します。バリー牧師が言ったように、エジプトやバビロンといった古代の文化すべて、そして最終的にはヨーロッパに上陸し、後にアメリカに上陸して、継続して巧みに編み込まれていきました。だから、はっきりと見て取れるとおり、エデンの園から東の帝国、ヨーロッパ大陸からアメリカ大陸まで、力を持った一族、大きな影響力、影響力のある人たちは、文字通り、自分たちは光を見た、そしてこの世界がどうあるべきかを自分たちはよく知っていると思っていますのです。そして、それを変えるのが彼らの使命だ、と。そのメッセージを

見ることを、本当にお勧めします。5年前のものですが、今日も同様に適切で信憑性があります。

マイク： ありがとうございます。では、時間がないので、最後の質問です。これをもって終わりたいと思います。皆さんは非常に忍耐強く、私たちが答えきれないほど、多くの質問をしてくれました。アミール、契約の箱はどこにありますか？

アミール： はははは…。ある話をします。えっと、ある話をします。1967年、イスラエルはヨルダンの手からエルサレムの旧市街を奪還しました。そして、当時イスラエルの主任ラビであった、ラビ・シュロモ・ゴレン、彼が嘆きの壁、西の壁に行き行って最初にしたことのひとつは、彼は考古学者の集団を連れて、ムスリム地区の下の西壁に沿って入って行きました。理解してください。今日、人々が礼拝しているのを誰もが見ている西壁は、ヘロデ大王が、当時の神殿の丘全体を保持するために作った擁壁（土留め的一种）の一部ではありません。そして、その擁壁に沿って神殿の丘に入るいくつかの門がありました。いくつかは、上にあった主要な門で、いくつかは、ずっと下の方にある秘密の門でした。ラビ・シュロモ・ゴレンが下の門のひとつに突入した時、彼は実際に空間に入り、そのトンネルのいくつかに這いつくばって、そして、動物の皮で覆われた物体を見たと言いはり、そして、その物体は、契約の箱の形をしていたと言います。しかし、彼はそれを見て啞然としてしまい、言葉を発することができませんでした。そして彼は出て行って、どうやらしゃべりすぎたようで、ヨーロッパからジャカルタ・インドネシアまで暴動が起きました。ユダヤ人が岩のドームを崩すために、神殿の丘の下を掘っていると主張したイスラム教徒がいたのです。そして何があったのかというと、コンクリートが流し込まれ、そして、ラビ・シュロモ・ゴレンが「契約の箱である可能性が、おそらく最も高いものを見た」といった場所への入り口が、もはや使えなくなりました。さて、彼が見たのは契約の箱なのか？知る由もありません。それはエチオピアにあるのか？彼らは、そう主張しています。私は、あちらには、ないと思います。しかし、ひとつだけ知っていることがあります。確かなのは、第二神殿時代、契約の箱は（存在しませんでした。）だから、契約の箱は必ずしも必要ないのです。“存在しなかった”というのは、見つからずに隠されていたという意味です。だから、そこにはなかったんです。つまり、必ずしも第三神殿に必要なということ。だから、第三神殿は、そこに建てられます。さて、もし反キリストが、彼らが神殿の丘の下を掘って、そこから回復できるようにすれば、面白いことになるでしょう。神はご存じです。いいですか？私は分かりません。ここで知ることはできません。私が知っているのは、これだけです。第三神殿の設計図は、できています。すべては2つのことにかかっています。人の墮落と反キリストの台頭。それによって、ユダヤ人が神殿を建てるできるようになり、後に、彼自身がそこを自分の場所、自分が神として崇拝される場所として主張します。ということで、この2つのことは、そろそろですね。契約の箱は、下から回収されるかもしれません。私には分かりません。私が知っているのは、たとえそうでなくても、神殿は建設され、反キリストがそこに入って、神として崇拝することを要求するのを止めることはありません。

マイク： ありがとうございます。もう一つ確かなのは、それは私の裏庭にはなく、アミールの裏庭にもありません。私は行ったことがあるから知っています。バリーは裏庭にあるの？この3つの場所を除外できれば。

バリー牧師： 私の裏庭には、ありませんよ。しかし、元IDFのガーソン・ソロモン氏の事前会議でのそれに沿った興味深い話があります。彼は、ヨム・キプール戦争で戦車に轢かれた将軍でしたが、イスラエルの神殿の丘信仰運動のために、資金調達をしていて、過去に、彼らが礎石を据えようとしたことで、神殿の丘の

上が緊迫していたのです。しかし彼は、同じ質問をされ、契約の箱はどこにある？どこにあるか知っていますか？そして、彼はためらうことなく答えました。「もちろん！神殿の丘の下の中央の部屋にある。時が来れば取り出します」彼は躊躇もせず、謝罪もしなかった。彼は正確に知っていたのです。

アミール： だから彼は、私の言う通りに…。

バリー牧師： そう聞きました。ちょっと面白いですね。

アミール： 私が言ったとおりです。

バリー牧師： そうです。

アミール： はい。

マイク： ということで、皆さん。非常にたくさんの質問があつて、むしろ、皆さんが保証してくれたようです。もちろん、こういった事をもっとやっていこうと思っています。特に、この時期、私たちは皆、このウィルスで時間がありますから。なので、ここで締めくくりたいと思います。では、アミールにお祈りをお願いしましょう。アロンの祝福がふさわしいのかもしれない。

アミール： はい、終わりにバリー牧師にお祈りしていただき、私はアロンの祝福で締めくくります。いや、今、バリー牧師をお願いしよう。週単位でやりましょうか？認めましょう。今はみんな家にいて、こういうのを見る暇がありますから。そして皆、膨大な数の質問があります。来週には事務所に引っ越すので、インターネットの質も上がりますし、定期的に行えます。もし、人が望むなら。答えなかった質問が山ほどありますが、時間が足りませんでした。では、バリー牧師、お祈りで終了してください。

バリー牧師： お父様、私たちは、あなたを知る事ができて、とても感謝しています。復活した生ける救い主に仕えている事を感謝します。私たちは、ページに貼られた言葉を単純に信用しているわけではありません。あなたの書は生きていて力強く、それは人生の中で自らを顕在化させ、何度も真実である事を証明してくれます。私たちが頻繁に話している、預言の成就でさえ、主よ、あなたが与えてくれた情報に感謝します。それは私たちに希望を与え、あなたの帰りを待ち望む熱意と期待を私たちに与えてくれます。主よ、私たちが預言的な年表の中で、どこにいるのか、少しでもタイムスタンプを与えてくださるようにお祈りします。私たちが、失われたたましいのために、イエスについて人々に伝えるため、大きく燃えるような情熱を持ちますように。このような時や、他の時を利用して、私たちの中に大きな重荷を生み出し、復活して生きている主を、他の人に知らせる事ができますように。今日のこの時間を、ありがとうございました。イエスの御名によって祈ります。

アミール：

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6章24節から26節/ヘブル語)

主があなたを祝福し、あなたを守られますように。

主が御顔をあなたに照らし、あなたを恵まれますように。

主が御顔をあなたに向け、あなたに平安を与えられますように。

(民数記6章24節から26節/英語)

彼のシャローム、平和の君にしか与える事ができません。平和の主であられる方、今ここで、そして永遠にあなたに平安を与える事ができる方、その名はイエス、イエシュア。彼は私たちの救いです。彼は私たちの平安です。主は道であり、真理であり、いのちです。あなたに感謝し、あなたを祝福します。

彼の御名のもとに祈ります。

アーメン

皆さん、いろいろとありがとうございました。うまく行けば、週に一度はやるつもりです。次回は、もっと聖書の答えに集中できるようにしたいと思います。コメント欄では、圧倒的にビル・ゲイツとCOVID-19に関する質問だったので、皆さんには、もっと神の御言葉に根ざしてほしいと思っています。そのために疑問に答え、御言葉の中で、もっと地に足をつけたいと思います。

マイク： ええ。

アミール： バリー牧師、ご一緒していただきありがとうございました。

バリー牧師： いつも楽しみにしています。

アミール： みんな、またやりましょう。We love you! 多くのプレッシャーの中にある私たちのために、お祈りください。誰もが自分の考えを持っています。それは、それでいいと思います。しかし、私たちは人々をイエスに導くためにここにいるのです。私たちは、人をこの世で唯一の真実と、唯一の神に導くために、ここにいます。そして、それが私たちの望みです。私たちは、人々がイエスを知って救われる事を望んでいます。ということで…、マイク、神の祝福がありますように！もう終了して構いません。そして…。また来週お会いしましょう。

神の祝福を！さようなら。



メッセージ by Amir Tsarfati / Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

ビホールドイスラエル 日本語 YouTube チャンネル

<https://www.youtube.com/channel/UCLcuvC6Mr63AqwiiXDkwRVQ>

2020.05.24 (Sun)